



令和8年4月28日
みどり幼稚園



保育目標（5月）

- *園生活のしかたがわかり、安心して過ごす。
- *好きな遊びや活動を友達と一緒に過ごす。
- *戸外で体操やかけっこをし、運動遊びに関心をもつ。
- *種まきをし、生長過程を観察する。
(だいこん・えだまめ・じゃがいも等)



5月の行事

【検診について】

園医紹介
内科 春日井内科・消化器内科クリニック
(小中野) 春日井聡先生
歯科 こんどうファミリー歯科(鮫町) 近藤一也先生
薬剤師 こかぐち 薬局(柏崎) 千葉恵子先生
★内科検診では、肌着1枚になりますので、衣類に名前を付けて下さるようお願いいたします。
★検診の結果は、6月中旬ごろにお知らせ致します。
★尿検査は6月に予定しています。

♡お母さんの絵(ラピア)♡
4/25~5/10(年中組・年長組)

桜の季節があつと言う間に過ぎ、あたたかな日差しの中で子どもたちの楽しそうな声が聞こえてきます。

八戸のお花見の季節もだいぶ繰り上がり、4月中旬頃には満開となりました。「お友達に会ったんだよ。」と楽しそうに話してくれたり、「アイスを食べた。」「かき氷がおいしかったよ。」などと花よりだんごは大人も子どもも同じようです。

思い出はどのようにして残しますか？

近年、AIが急速に発達し、何でも考えてくれるようになりました。川柳や俳句のコンクールなどではAIが作ったのか人が作ったのかわからなくなり、コンクールを中止したところもあると聞いて複雑な思いがします。また、近隣の小学校の毎月、園に配達して下さる1・2年生の学年便りにも変化がありました。文字が大きくなり、文章が短く、一行ごとに改行されています。おそらく、スマートフォンに対応することになったからではないかと思われます。

そうして考えていくと幼稚園の連絡帳に保護者の皆様や先生が手書きするというのは、そろそろ時代遅れなのかとってしまうこの頃です。

また、お子さんの写真の保存は皆様はどのようにされていらっしゃるのでしょうか。昨年12月の地震の際、わが家の本棚からアルバムが落ちてきたおかげで久しぶりに子どもたちの小さかった頃の写真を見ることになりました。こんなにかわいい笑顔を私たちにに向けてくれていたのかとしばらく見入ってしまいました。

幼稚園の連絡帳も何年か後には親として自分が心配したり、喜んでいたりしたことをなつかしく思える日がきっと来るのではと思っています。便利なものを上手に使いながら、この幸せな子育て時代を五感をフルに使って楽しんでほしいと思います。

地震発生時の対応について

4月20日八戸市は震度5弱が起こり、津波警報が発令されました。このような事態に備え、避難訓練等を通して安全な避難の仕方をこれまで以上に徹底しているところで。ご家庭におかれましては、「地震発生時の対応について」(黄色の用紙)をいつでもわかる場所に保管しておいてくださるようお願い致します。

園長 正部家 朱美



月	火	水	木	金	土
				1	2
				創立記念日 休園	休園
4	5	6	7	8	9
みどりの日 休園	こどもの日 休園	振替休日 休園		おがみ神社 サッカー教室 (年中・年長組)	休園
11	12	13	14	15	16
	わくわく教室① 講師 久保田 久美絵さん	わくわく教室②	びよちゃんクラブ 英語教室 (年中・年長組) 内科検診		預かり保育
18	19	20	21	22	23
	わくわく教室③ 講師 高橋みのるさん	体操教室 (年中組) (年長組)		お弁当の日 (水筒もお持ち ください。)	休園
25	26	27	28	29	30
	避難訓練	南部会館 見学(予定)		誕生会 (4・5・6月)	預かり保育 びよちゃんクラブ

幼稚園携帯電話番号は
090-6259-7803です。
登録をお願いします。

令和7年度 自己評価報告書

学校法人正栄学園 みどり幼稚園

《実施日》令和8年3月17日(火)・18日(水)

《参加者》正部家・御子柴・齋藤・柳沢・高橋・渡部・吹切

1. 本園の教育目標

- ・明るく元気な子
- ・友達と仲良く遊べる子
- ・思いやりのあるやさしい子
- ・最後までやりとげる子

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

○「生活する力」「関わる力」「学びに向かう力」の3つの柱のもとに子どもの姿を踏まえた保育者の関わり・環境構成を考え、実践する。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	子どもの発想を生かす造形遊び	B	△子どもが興味を示すものと保育者が意図的に準備したものが、必ずしも子どもが興味を示さずにいた。 ○朝の自由遊びを盛り上げるためには、保育者の事前準備が必要で、保育者自身も製作するために材料の素材を知ったり道具の扱い方を知ることができた。 ○クラス活動(お店屋さんごっこ、お祭りごっこなど)では、事前に子ども達との話し合いを設けてお互いに意見を出し合い、イメージを共有することができ、一緒に製作活動に取り組めた。
2	発達の特性に応じた運動遊び	C	○長縄遊びでは、年齢に合わせて回すスピードを工夫した。 ○鬼ごっこなどの集団遊びでは、ルールを踏まえながら年齢に応じルールを変えながら楽しめるようにしてきた。 △前半は、運動器具(巧技台・はしごなど)を出して遊んでいたが、後半は出して遊ぶことが少なくなった。 ○年長組は全員、短縄を跳べるようになった。
3	園内研修の充実	B	○それぞれの研修で学んだことを発表し合い共有できた。 △研修した内容を保育に意図的に取り組むことがあまりできなかった。

評価(A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・造形遊びでは子ども達が何の素材を求めているのか扱いやすいもの、想像をかきたてるものはどんなものか、先を見通して準備をしていきたい。 ・一人ひとりの『作りたい気持ち』に寄り添うような環境構成や援助の仕方が難しかったため、子ども達の遊びの様子をじっくりと見つめ、どのような言葉かけや援助が必要なのか考えていきたい。 ・園内研修は、来年の東北大会に向けて、どのようなものを目指して進むか分かり始めてきた気がする。 ・年長組が短縄に取り組む様子を見て、他学年の子ども達が憧れの気持ちを持ち、興味をもって長縄や短縄に取り組めるようになった。 ・それぞれの研修で学んだことを共有することができ、充実していた。その学びを保育に生かすにつなげるようにしていきたい。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	子どもの発想を生かした造形的な遊び	<ul style="list-style-type: none"> ◎日常の遊びを通して環境設定の見直しをする。 ◎日頃の保育者の関わりや言葉かけの大切さに気付き、子ども達からの発信をきちんと受け止め、丁寧な対応を心がける。 ◎生活の中での造形的な遊びに目を向け個々の発想を生かせるような援助をする。 ◎クラス的环境について朝の打ち合わせの時に発表し合う。 ◎自由遊びの子ども様子を記録に基づいて週案の時に発表し合う。(エピソードを一人から二人ずつ)
2	発達特性に応じた運動遊び	<ul style="list-style-type: none"> ◎運動指針を見直し、発達特性に応じた運動遊びを工夫する。 ◎発達に応じた運動遊びを指導計画に入れる。 ◎子ども達が運動遊びを楽しめるように環境を整える。 ◎腕と足の力をつけるために、雑巾がけを行う(ホールでも)
3	園内研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◎子ども達の造形的な遊びの様子など記録やエピソードを持ち寄り、週案の時に話し合うことで、保育を振りかえる習慣を身につける。 ◎リトミックや運動遊びを学び合う。 ◎保護者対応や支援が必要な子への対応の仕方について、研修会に参加したり話し合う機会をもつ。

令和8年4月8日(水) 学校関係者評価委員会にて

6. 学校関係者評価委員会の評価

- (1)発想を生かす活動で、クルームパペル久保田さんとの活動することにより、美術館での展示を家族で体験する機会を得ることができた。
- (2)先生方、職員の皆さんが笑顔でお声がけをしてくれる。子ども達を大事にしてくれていることが伝わる。先生が子ども達、それぞれのペースに合わせていて、一人ひとりをみて、全員が育つように接している。
- (3)保護者として一年過ごせて楽しかった。一年を通して、子どもが成長したと感じた。何かをつくることも楽しめるようになった。
- (4)発想力の豊かさなど、これまでの積み重ねできっとよい東北大会の公開保育ができると思う。
- (5)子どもの気持ちに寄り添い、子どもたちにやる気を起こさせている様子を何度も見ることができた。また、これからの時代に必要な教育はどんなものか幼稚園として発信していくことは必要であると考える。
- (6)先生方の笑顔でいつでも誰でも受け入れている感じに好感がもてる。子どもたちと先生との信頼関係もある。その子に合わせて、せかさずに待っている姿は子どもにとっては信じてもらっている安心感をもてる。